

耶麻農高 農場便り

あ・ぐ・り

Agriculture～農業～

第37号

平成27年3月1日発行

発行責任者
農場長 星久一郎

農場長より

本年度産業技術科・ライフコーディネイト科合同で実施された「先輩の話を聞く会」において、佐原病院の看護部長をしておられる、大西すい子さんに「42年間の看護人生」と題して講演をいただきました。生徒からは高校時代のような進路決定のきっかけなど活発な質問が出て、盛り上がった講演会となりました。

農場生産の状況は、水稻の価格低迷による減収もありましたが、天候に恵まれ順調な生産量となり、全体を通して例年並の生産となりました。

作物部門

作物専攻においては、地域特産品のそばとエゴマを使った商品開発に取り組んできました。その成果として、そば切りやそばがき、そばピザなどの試作品作り、試食アンケートを実施して、エゴマみそを使ったそばがきを商品化することとなりました。今後は独自の新品として、消費者からの意見を参考に開発を進めたいと考えています。

畜産部門

本年度は、肉牛部門ではA5等級が2頭・A4等級が2頭、A3等級が1頭の、5頭を出荷しました。ランクは平凡でしたが、A4等級では脂肪交雑が良く、A5等級を上回る高値で取引されました。繁殖部門では子牛1頭を出荷しました。やや育成不足ではありましたが、ここ数年子牛の需要が多く、高値となりました。プロジェクト「肉質の改善研究」は、まだ半ばではありますが、今年度の和牛2頭の出荷で良い研究成果を収めており、来年度は5頭出荷する予定なので成果が期待されます。繁殖部門では、昨年8月に1頭(雄)・10月に1頭(雌)の2頭が生まれ順調に育成しています。

プロジェクト発表では、3年生・2年生が1年間取り組んだ調査研究をまとめ、校内発表研究も頑張りました。これからも継続研究し良い結果を出せるよう頑張りたいと思います。



(先輩の話を聞く会)



(そば打ち技能講習)



野菜部門

今年度の野菜部門は、前半は天候にとっても恵まれ、夏野菜は元気に生育してくれました。秋冬野菜は、定植をした時に台風がまとまった強い雨をもたらし、困らされることもありましたが、その後、ハウス内の葉菜類もふくめて順調に生育し、生徒の実習も充実した内容になりました。販売実習の際には、みなさんに沢山野菜を買って頂きありがとうございました。また、来年度も「安全で美味しい野菜」をお届けできるよう実習に励んでいきたいと思ひます。今年もハウス内に電熱線を設置し、2月中旬から来年度の野菜苗のたねまきを始めました。春には野菜苗の販売を行いますので、購入をご希望される方は、生徒を通して注文頂くか学校までご連絡下さい。なお、ゴールデンウィーク過ぎに販売できるよう生徒と一緒に準備を進めていきたいと思ひます。



(野菜栽培管理の様子)

草花部門

生徒達が丹精込めて栽培したシクラメン、カンナ、キク、シネラリア、プリムラ類などの鉢物をはじめ、マリーゴールド、ペコニア、ペチュニア、トレニア、サルビア、ロベリアなどの花壇用苗を販売しました。

今年からウォーターシクラメンの販売を行い、多くの方に花を楽しんでいただき有難うございました。

さらに、4年目になります喜多方駅前と喜多方市役所前にオブジェ制作を行い、街行く皆さんの目を楽しませることができたと思ひます。来年もオブジェ制作を行う予定です。

地域に愛される草花を提供できるよう努力したいと思ひますので、来年もよろしくお願ひします。



(草花実習の様子)

農業クラブより

今年の農業クラブ活動では、農業鑑定競技「農業」において、産業技術科1年五十嵐智美さんが県大会最優秀を獲得する大活躍がありました。その他に家畜審査競技「肉牛の部」で産業技術科3年井上竜哉君、農業鑑定競技「農業」で産業技術科3年中川諒久君、意見発表大会「食料生産」で産業術科2年芳賀樹菜さんが優秀賞を獲得しました。例年になく、多くの生徒が入賞することができました。これも、地道に努力した結果だと思ひます。

今年は、本校が農業情報処理競技と家畜審査競技の運営校として、大会を盛り上げることができ、農業クラブが例年のないほどの活躍をしてくれたと思ひます。

